

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第一小学校

福祉体験活動

第4学年

車イス体験



アイマスク体験

見えないと怖いことがわかった。ガイドする人がいると助かると思った。



段差があると進むのが大変なことがわかった。乗っている人は、困ると思う。

特色

- 聴覚に障害のある方に直接お話を伺う、アイマスク・車イス体験や高齢者疑似体験をするなど様々な角度から福祉について考える取組を行った。
- 支援籍学習で、本校に来る聾学校の児童との交流があり、身近なこととして福祉について考えることができた。

児童の感想

- アイマスク体験では、白杖をもってガイドヘルプの人と一緒に歩いたけど、階段や段差でこわかった。視覚障害の方と会ったら手助けをしたいと思います。
- 車イス体験では、乗る人の気持ちや介助の難しさが分かりました。車イスの人を見かけたら、困っていないか声をかけたいと思います。

成果

- 白杖や車イスなどの使い方を知るだけでなく、相手の立場になって関わることの大切さを学ぶことができた。
- 障害のある方と直接ふれあうこと、工夫して生活されていることを伺うことなどの体験を通して学ぶことにより、自分にできることは何かを自ら考え、行動する意識を高めることができた。